

教科	家庭	科目	生活教養	年次	3～4	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		最新版 楽しく学べるマナーの基本 (教育図書)					

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、生活文化の継承と創造を担う生活人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指します。 (1) 地域や家庭の生活習慣を充実向上させるためのマナーの役割を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。 (2) 地域や家庭の生活習慣やしきたりに関する課題を発見し、生活文化の継承と創造を担う生活人として合理的かつ創造的に解決する力を養います。 (3) 生活の充実向上を目指して自ら学び、生活文化の継承と創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。	
評価の観点	① 知識・技能	地域や家庭の生活習慣を充実向上させるためのマナーの役割を理解し、関連する技術を身に付けている。
	② 思考力・判断力・表現力	地域や家庭の生活習慣やしきたりに関する課題を発見し、生活文化の継承と創造を担う生活人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
	③ 学びに向かう力・人間性等	生活の充実向上を目指して自ら学び、生活文化の継承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価の方法	定期考査に加え、提出物（製作物、ノート等）、小テストの成績などで総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とします。授業態度や参加姿勢に加え、思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	1 好感度アップのポイント	・家庭や学校、地域など、私たちの生活を支えている人々と良好な関係を保ち、気持ちよく生活するための心構えを身に付けます。 ・体験的な学習を通して、身だしなみを整えることや、美しい立ち居振る舞いを習得します。 ・敬語の使い方について理解を深めます。
	2 外出先でのマナー	・電車やバスといった公共交通機関でのマナーや、訪問するときの振る舞いについて学習します。 ・部屋の中での上座と下座の違いに気付き、席次のルールを理解します。 ・和室の作りや和菓子の種類を知り、日本の文化への関心を高めます。
	3 食事のマナー	・正しい箸の持ち方、取り方、置き方を習得します。 ・会席料理と懐石料理の違いや、懐紙の役割、焼き魚の正しい食べ方を理解します。 ・体験的な学習を通して、フランス料理で並んだカトラリーの使い方や、中国料理の円卓でのマナーなどについて理解を深めます。
	4 書き方のマナー	・改まった手紙を書くときの便箋や筆記用具の選び方や、はがきと手紙の使い分けについて理解します。 ・頭語と結語の正しい組み合わせを理解し、手紙やはがき、封筒の正しい書き方を習得します。 ・時候の挨拶、国際郵便の書き方、招待状の出欠確認用の返信はがきの書き方について理解を深めます。
後期	5 人生の節目のしきたり	・のしと水引の役割、慶事と弔事でのマナーを理解し、祝儀袋と不祝儀袋の正しい書き方を習得します。 ・数珠やふくさの扱い方を体験的に学習します。 ・長寿のお祝いの種類や、風呂敷の包み方、お中元やお歳暮を贈る時期を理解します。
	6 社会人としてのマナー	・就職活動をするときや、社会に出て企業や組織で仕事をするときに必要なマナーを身に付けます。 ・社会人として相手をお願いするときの声のかけ方や、丁寧なお辞儀の仕方を習得します。 ・体験的な学習を通して、文書やメールの構成を理解します。 ・名刺交換の際のマナーや、電話対応のマナーについて学習します。
	7 日本の年中行事	・季節の訪れを感じ、日本の伝統文化や代表的な年中行事、お祭りなどについて学習します。 ・興味をもった年中行事について調べ、生活文化への理解を深めます。
	8 国際人としてのマナー	・様々な国の人がそれぞれの文化的背景や習慣のもとに生活している国際社会でコミュニケーションをとっていくためには、自分のことを理解してもらうことと相手のことを理解し尊重することが重要であることを理解します。 ・日本の伝統文化や、国旗掲揚のときの行動の仕方、海外ではいけないジェスチャーなどを学習します。 ・簡単な英語の挨拶や自己紹介を身に付け、国際社会で豊かな交流ができるようにします。